

## セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5  
Tel: 0266-52-3131(代表)

<http://www.epson.jp>

### 株主メモ

|   |   |
|---|---|
| 決算期   | 3月31日   |
| 定時株主総会                                      | 6月  |
| 期末配当金支払株主確定日                                | 3月31日   |
| 中間配当金支払株主確定日                                | 9月30日   |
| 株主名簿管理人                                     | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社  |
| 未払配当金の支払い、<br>支払明細発行のお問い合わせ先・郵便物送付先※1       | 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>0120-232-711(通話料無料)                                 |
| 特別口座管理機関                                    | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号<br>みずほ信託銀行株式会社   |
| 特別口座に記録された株式に<br>関する各種お手続きのお問い合わせ先・郵便物送付先※2 | 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>みずほ信託銀行株式会社 証券代行部<br>0120-288-324(通話料無料)                                     |
| 公告掲載方法                                      | 電子公告により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。                                      |
| 公告掲載アドレス                                    | <a href="http://www.aspir.co.jp/koukoku/6724/6724.html">http://www.aspir.co.jp/koukoku/6724/6724.html</a> |

※1 住所氏名変更・配当金振込先指定(変更)等の事務手続きについては、お取引の証券会社等にお問い合わせの上、所定の変更届等を提出してください。

※2 なお、特別口座にて管理されている単元未満株式(100株未満)の買取りの際には、買取請求書を上記「みずほ信託銀行株式会社 証券代行部」にご請求の上、同行にて所定の手続きを行ってください。

**EPSON**  
EXCEED YOUR VISION

セイコーエプソン株式会社

## 2012年3月期 中間株主通信

2011年4月1日～2011年9月30日

## 経営理念

お客様を大切に、地球を友に、  
個性を尊重し、総合力を発揮して  
世界の人々に信頼され、社会とともに発展する  
開かれた会社でありたい。  
そして社員が自信を持ち、  
常に創造し挑戦していることを誇りとしたい。

(エプソンは経営理念を世界の14の言語に翻訳し、グループ全体で共有しています。)

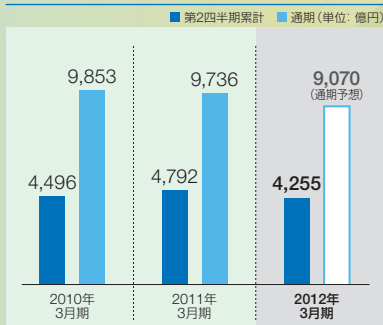
### 目次

|                   |    |
|-------------------|----|
| 連結財務ハイライト         | 1  |
| 株主のみならずへ          | 2  |
| 当中間期の連結業績について     | 3  |
| 特集: 2011年 新商品のご紹介 | 5  |
| 社会貢献活動            | 8  |
| 連結決算の概要           | 9  |
| 会社情報 / 株式情報       | 10 |

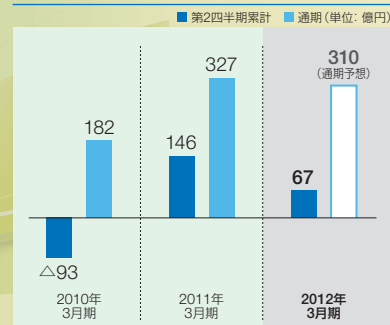
本文中、セイコーエプソングループにつきましては「エプソン」、セイコーエプソン株式会社につきましては「当社」と記載しています。

## 連結財務ハイライト

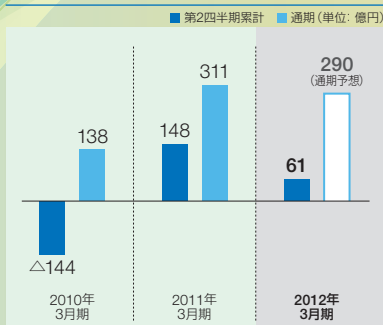
### 売上高



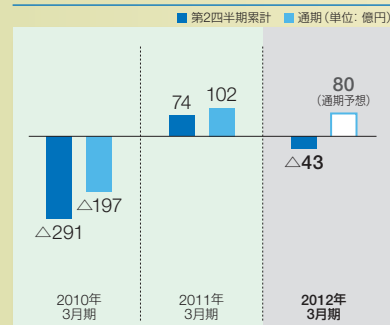
### 営業利益(△損失)



### 経常利益(△損失)



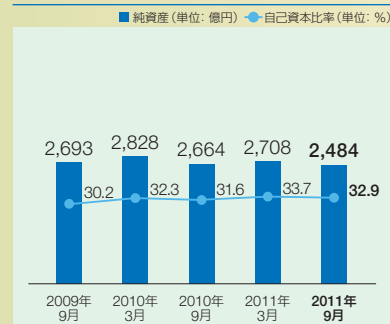
### 当期(四半期)純利益(△損失)



### 総資産



### 純資産 / 自己資本比率



(注) 1. 2012年3月期通期の売上高および各利益は、2011年11月14日公表の予想金額です。  
2. 自己資本は、純資産から少数株主持分を差し引いて算出しています。

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
ここに2012年3月期中間株主通信をお届けいたしますので、  
ご高覧賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

碓井 稔

### 当中間期(2011年4月~9月)の業績について

当中間期の経済環境を顧みますと、欧米は全般的に高失業率の継続や財政不安などにより、景気回復の足取りが鈍化しましたが、アジアにおいては中国やインドは内需の増加を背景に拡大傾向が継続しました。国内は東日本大震災の影響が経済活動の広範囲にわたり厳しい状況となりましたが、後半にかけては景気持ち直しの傾向がみられました。また、欧州の財政不安などを背景として期を通じて円高傾向が進み、特に米ドルでは前年同期比で10%の円高となりました。

このような経営環境のもと、エプソンは、主力商品であるインクジェットプリンターやプロジェクターなどで、お客様の使い勝手の良さをさらに追求し、特にインクジェットプリンターでは、ビジネスでご利用になるお客様のニーズにお応えした商品ラインアップの拡充も図ってまいりました。(今年発売の主な新商品につきましては、5ページからの「特集」をご覧ください。)また、事業体質強化のために従来から取り組んできた変動費・固定費の削減や効率的な費用執行などに努めました。

この結果、当中間期の業績は、売上高4,255億円(前年同期比11.2%減)、営業利益67億円(同53.8%減)、経常利益61億円(同58.6%減)、四半期純損失43億円(前年同期は74億円の四半期純利益)と、東日本大震災や円高などの影響があるなか、前年同期の水準は下回ったものの、期初計画比で営業利益はほぼ計画並みとなりました。

### 株主様への利益還元について

当中間期の配当につきましては、従来公表のとおり1株当たり13円(前年比3円増配)とさせていただきます。

なお、株主のみなさまへの利益還元につきましては、安定的な配当を基本としたうえで、今後の事業戦略に応じた資金需要および業績や財務状況などを勘案し、中長期的に業績拡大を図りつつ、連結配当性向30%を目安として実施してまいります。

### 今後の課題と取り組みについて

下期も為替動向や欧米景気の減速懸念など、依然として予断を許さない状況が続くものと見込まれます。

エプソンは、強い事業の集合体となり、お客様に感動していただける製品・サービスを創り・作り、お届けすることを目的とした長期ビジョン「SE15」の実現に向け、現在、利益体質への転換と事業基盤の再構築に取り組んでいます。その最終年度にあたる今期においては、「新たな成長軌道の確立」を図るための戦略を確実に推進し、来期からスタートする次期中期経営計画へつなげてまいります。

そして、エプソンが持つ強みを最大限に活かして、重点事業領域に経営資源を集中させることにより、お客様をさらに広げ、世の中にとってなくてはならない会社となることを目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年12月

## 当中間期の連結業績について

売上高 **4,255** 億円 (前年同期比11.2%減) / 営業利益 **67** 億円 (前年同期比53.8%減)

### 事業セグメント別の概況

#### 情報関連機器事業セグメント

売上高 **3,166** 億円 (前年同期比6.2%減)

セグメント利益 **263** 億円 (前年同期比16.0%減)

売上高構成比  
**72.4%**

#### ■ プリンター事業

インクジェットプリンター、ページプリンター、ドットマトリクスプリンター、大判インクジェットプリンターおよびそれらの消耗品、カラーイメージスキャナー、ミニプリンター、POSシステム関連製品など

#### ■ ビジュアルプロダクツ事業 (下期に、映像機器事業から変更)

液晶プロジェクター、ラベルライターなど (下期に、液晶プロジェクター用高温ポリシリコンTFT液晶パネルを追加)

#### ■ その他

PCなど

#### 主な商品



カラリオプリンター  
「EP-904F」



光沢顔料インクジェットプリンター  
「PX-7V」



ビジネスインクジェットプリンター  
ファックス複合機「PX-B750F」



モノクロページプリンター  
「LP-S3200」



3D対応ホームプロジェクター  
「EH-TW8000」

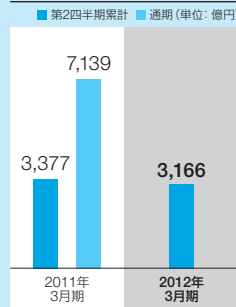


プロジェクター向け3D表示対応  
高温ポリシリコンTFT液晶パネル

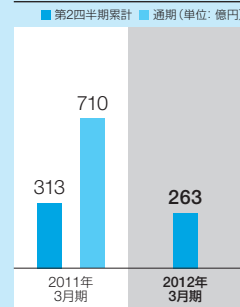


ビジネスプロジェクター  
「EB-X14」

#### 売上高



#### セグメント利益



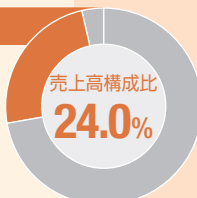
- インクジェットプリンターは、ビジネス向けに競争力を高めた新商品を投入しラインアップを拡充。
- コンシューマー用インクジェットプリンターは、震災影響によるサプライチェーン上の問題などにより本体数量が減少。
- ページプリンターは、震災影響により、本体供給不足による販売数量減少に加えて、稼働率の低下により消耗品販売が減少。
- ドットマトリクスプリンターは、中国における徴税関連の需要により数量増加。
- ビジネス用大判インクジェットプリンターは、震災影響があったなかで、サイン市場向けが堅調であったほか、欧米を中心とした新商品発売効果により本体数量が増加。一方、消耗品は、震災影響や景気回復の鈍化により本体稼働率が低下して販売が減少。
- ビジネス向け液晶プロジェクターは、米国における教育用途の需要にかげりが見えた一方で、アジアでは堅調に数量増加。
- ホームシアター向け液晶プロジェクターは、米国市場においてフルハイビジョン機種への需要増加の効果あり。

(注) セグメント区分の変更による、主な変更点は以下のとおりです。

1. 「電子デバイス事業セグメント」と「精密機器事業セグメント」を、期初より「デバイス精密機器事業セグメント」に統合しています。これにより、前第2四半期連結累計期間の金額は、当第2四半期連結累計期間のセグメント情報の測定方法で再計算して表示しています。
2. 映像機器事業(情報関連機器事業セグメント)と、液晶プロジェクター用高温ポリシリコンTFT液晶パネル(デバイス精密機器事業セグメント)を、下期よりビジュアルプロダクツ事業(情報関連機器事業セグメント)に統合しています。これにより、前連結会計年度(通期)の金額は、当第3四半期連結会計期間(下期)よりのセグメント情報の測定方法で再計算して表示しています。

## デバイス精密機器事業セグメント

売上高 **1,049億円** (前年同期比16.0%減)  
セグメント利益 **41億円** (前年同期比55.4%減)



### ■ デバイス事業

水晶デバイス(水晶振動子、水晶発振器、水晶センサーなど)  
半導体(CMOS LSIなど)

\*液晶プロジェクター用高温ポリシリコンTFT液晶パネルは、下期よりビジュアルプロダクツ事業(情報関連機器事業セグメント)へ変更

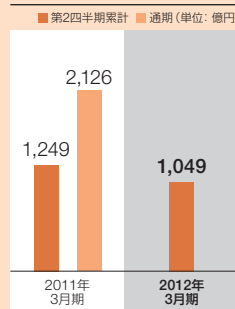
### ■ 精密機器事業

ウオッチ(ウオッチ、ウオッチムーブメントなど)  
光学(プラスチック眼鏡レンズなど)  
FA機器(水平多関節型ロボット、ICハンドラー、工業用インクジェット装置など)

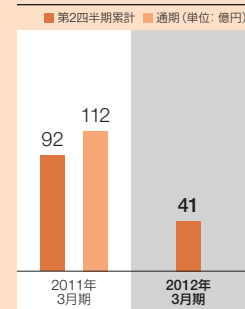
#### 主な商品



## 売上高



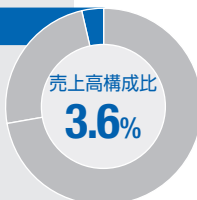
## セグメント利益



- 水晶デバイスは、ATや音叉型において価格低下が進行したことなどにより減収。
- 半導体は、震災の影響もあり、LCDCやシリコンファクトリーにおいて数量減少となり減収。
- 液晶プロジェクター用高温ポリシリコンTFT液晶パネルは、前年同期には好調に推移していたプロジェクター需要に一服感が見られたことを背景に販売が減少。
- ウオッチの販売が回復。
- プラスチック眼鏡レンズは、米国・日本などでの販売が減少。
- FA機器は、ICハンドラーの販売が減少。

## その他

売上高 **158億円** (前年同期比50.6%減)  
セグメント利益 **△6億円** (前年同期は23億円のセグメント損失)



### ■ グループ内サービス業など

3~4ページに掲載している

- 売上高構成比は、2011年4月~9月の内部売上高を含めて算出しています。
- 2012年3月期通期のセグメント別の売上高および利益は、2011年11月14日付の通期業績予想では公表していません。



特集：2011年 新商品のご紹介

# どこからでも、どこでも。暮らしを彩る新商品で、

どこからでも、お気に入りの写真をプリントしたい。どこでも、大迫力の映像を楽しみたい。この秋発売の新商品は、そんなご要望にお応えした、新しいライフスタイルを実現してくれる商品です。

エプソンは、お客様に快適で彩りある暮らしをご提供することで、「なくてはならない存在」を目指してまいります。

## カラリオプリンター 多機能モデル 「EP-804A/AR/AW」

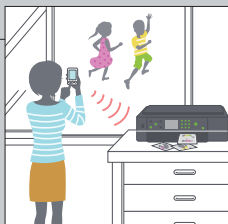
### 「Epson iPrint」でスマートフォンからプリントOK

「Epson iPrint」は、スマートフォンのための無料プリントアプリケーションです。Wi-Fiネットワーク内にあるプリンターを自動で認識。スマートフォンから写真やドキュメントのプリントがカンタンにできます。 \* 詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.epson.jp/products/mutual/iprint/>



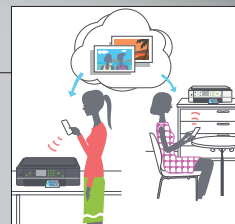
#### ● 写真をプリント

撮った写真を、PCレスでカンタンにプリント。用紙・用紙サイズ選択、印刷品質の操作も可能です。



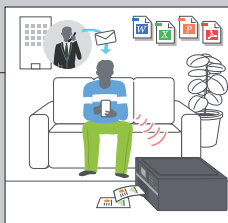
#### ● オンラインサービス(クラウドサービス)を活用

オンラインサービスへ保存している写真やドキュメントファイルにアクセスしてプリントできます。



#### ● ウェブページ、ドキュメントファイルをプリント

気になったウェブページ、メールで送られてくるドキュメントファイルを、そのままプリントできます。



#### スタイリッシュカラーバリエーション

これまでのブラック、ホワイトに加えボディーカラーにレッドモデルを新たに追加。お手持ちのスマートフォンやPC、お部屋のインテリアに合わせてプリンターが選択できます。キレイで、多機能で、しかも使いやすい。ますます暮らしに役立つプリンターになりました。

なくてはならない存在を目指します。



ことで、どこでも映像やWebコンテンツを楽しめる世界初\*1のスタンダードアローン型\*2シースルーモバイルビューアーが誕生しました。

\*1 民生用両眼ヘッドマウントディスプレイにおいて、エプソン調べ(2011年11月25日発表)

\*2 他の機器と接続しなくてもコンテンツ視聴可能

## シースルーモバイルビューアー MOVERIO (モベリオ) 「BT-100」

エプソンの光学技術が実現する新しい視聴スタイル

部屋の外で、長距離  
移動の車内や機内で。  
メガネのように装着する



シースルーだから画面と同時に周りの状況も見える

目の前の風景に映像が浮かぶ。自分だけの世界に没頭しながらも周りにも目を配れるので、移動中や公共の場所でも安心して楽しめます。



迫力の大画面

エプソン独自の光学技術、高精細ディスプレイにより、周囲の環境との比較で、2D映像も3D映像\*3も遠くを見るほど大きく見える画面(20m先なら320型相当)で、あらゆる映像を美しく見ることができます。かつてない不思議な映像空間です。

\*3 サイドバイサイド方式

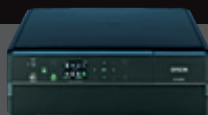
臨場感あるサラウンド

Dolby Mobile 採用。クリアで迫力あるサラウンドを付属のイヤフォンだけでなく市販のイヤフォンでも楽しめます。 \* Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

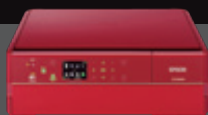


### メールで送ってプリントできる

写真やドキュメントをメールに添付してプリンターに送るだけでプリントできます。eメールを送信可能な機器からなら、どこからでもプリント可能。ソフトやドライバーも必要ありません。



EP-804A

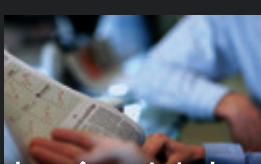


EP-804AR



EP-804AW

特集：2011年 新商品のご紹介



ビジネスシーンの中でも、なくてはならない存在へ。

## 「オフィスプリンター=レーザー」の常識を変える ビジネスインクジェットプリンター 「PX-B700」



### ビジネスのニーズに応え、1枚目から高速印刷

ビジネスシーンでは、1、2枚だけ印刷する機会が意外と多いもの。インクジェットプリンターならウォームアップが短いから、最初の1枚から高速印刷。また、デスクサイドに置けるコンパクトサイズだから、いつでも待たずに、手軽に印刷が可能です。さらに、エプソンが誇る「マイクロピエゾヘッド」のインク吐出パフォーマンスにより、ドキュメント印刷はもちろん、写真やグラフが混在した文書でもハイスピード。大容量給紙カセットの採用で、大量印刷のニーズにもお応えします。

#### 1枚目の印刷時間

モノクロ

約9秒

カラー

約11秒

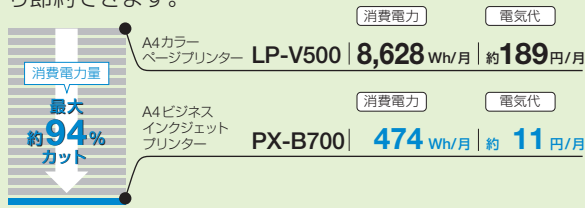
\* 1枚目の印刷時間算出条件 1枚目の印刷時間は、エプソンの評価基準による値です。詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.epson.jp/products/biz/pxb700/>

## エコロジーとエコノミーで、ビジネスに貢献

### Ecology エコロジー

#### 消費電力を最大約94%低減（当社比）

消費電力が少ないのがインクジェットプリンターの大きな特長。当社のA4カラーページプリンターと比較すると、1ヶ月の消費電力を、最大約94%低減することが可能。環境負荷を抑えるとともに、導入後の電気代もしっかり節約できます。



\*消費電力量算出条件 消費電力量は、エプソンの評価基準による値です。  
●詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.epson.jp/products/biz/pxb700/>  
●インクジェット方式のPX-B700と電子写真方式のページプリンターLP-V500(2005年発売モデル)を比較しています。

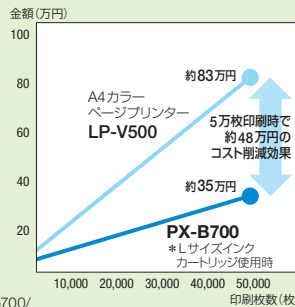
### Economy エコノミー

#### トータルコストも大幅に削減可能（当社比）

コスト削減はビジネスの大きな課題のひとつです。コストを抑えつつ訴求力や提案力があるドキュメントを印刷することは、ビジネスにとって大きな競争力になります。だからこそ、カラー印刷のローコストを追求しました。

A4 1枚あたり 約6.4円

\*印刷コスト算出方法につきましては、ホームページをご覧ください。  
<http://www.epson.jp/products/biz/pxb700/>





## 社会貢献活動

エプソンの経営理念のなかに「社会とともに発展する開かれた会社でありたい」という言葉があります。ここには、多様な文化や考え方を尊重し、そのうえで、エプソンならではのお客様価値を、お客様や社会とともに創造していこうということや、そこで得られた利益はさまざまな形で社会に還元することで、社会とともに発展していこうという想いが込められています。

エプソンの社会貢献活動は、従来の寄付や協賛だけの支援から、事業を支えている技術力やノウハウを活用した支援や人的貢献による支援など、時代に即した貢献へと活動の幅を広げています。今回は、東日本大震災からの復興に役立てていただくために行った活動のいくつかをご紹介します。

### 写真復元プロジェクトへの協力

エプソンでは、プロの写真家向けの製品から一般家庭で手軽にお使いいただける製品まで、幅広いラインアップでインクジェットプリンターを提供しているとともに、全国各地でデジタルプリントの楽しみ方や、撮影・プリントのテクニックをお伝えするセミナーやイベントなどを開催するなど、写真文化の普及のための活動にも力を入れています。

本年3月の東日本大震災では、大切な思い出が詰まった数多くの写真も被害を受けました。エプソンは、震災で打ちひしがれている方々にとっての心の支えと癒しになっていただけたらと考え、「あなたの思い出まもり隊」プロジェクトの活動に協力しました。プロジェクトでは、東北福祉大学、工学院大学、神戸学院大学を含む社会貢献学会のみなさんが、被災された方々から泥や水で汚れた写真を預かり、スキャナーやプリンターを使ってきれいに復元してお返しする活動を行っています。エプソンではスキャナー、プリンター、インク、用紙の提供のほか、現地に赴いての技術指導などを行いました。



GT-X820で写真のスキャンを行う学生ボランティア

### 地図や衛星写真の出力協力

災害ボランティアセンターに大判プリンターと消耗品を寄贈しました。被災状況の共有化や復旧復興計画の策定に必要な、被災地域マップや衛星写真を大判の紙へ印刷することに活用いただいています。



大判プリンターでの被災地域マップ出力の様子

### エプソン商品の寄贈

被災された自治体を通じ、各地の避難所にTVチューナー付きPCとプロジェクター（スクリーン付属）を寄贈しました。TVニュースやインターネットなどでの最新情報の収集や、プロジェクターを使って多くの方々に一緒に見ていただくことができました。

また、被災された自治体や避難所にプリンターと消耗品、ノートPCを寄贈するなどの活動も行いました。

### 修理サービス

被災されたみなさまに向けて、エプソン製品の修理料金の特別対応を行っています。

このほか、義捐金の拠出や社員による募金活動も行いました。今後も被災地の状況や要望を確認しながら継続して支援を実施します。

## 連結決算の概要

### 四半期連結貸借対照表の要旨

(単位: 億円)

|                | 2012年3月期<br>第2四半期連結会計期間末<br>(2011年9月30日現在) | 2011年3月期<br>連結会計年度末<br>(2011年3月31日現在) |
|----------------|--|---------------------------------------|
| <b>資産の部</b>    |  |                                       |
| 流動資産           | 5,074                                      | 5,435                                 |
| 固定資産           | 2,424                                      | 2,546                                 |
| 有形固定資産         | 2,042                                      | 2,136                                 |
| 無形固定資産         | 146  | 146                                   |
| 投資その他の資産       | 236  | 264                                   |
| <b>資産合計</b>    | <b>7,499</b>                               | <b>7,982</b>                          |
| <b>負債の部</b>    |  |                                       |
| 流動負債           | 2,838                                      | 3,154                                 |
| 固定負債           | 2,176                                      | 2,119                                 |
| <b>負債合計</b>    | <b>5,015</b>                               | <b>5,274</b>                          |
| <b>純資産の部</b>   |  |                                       |
| 株主資本           | 3,238                                      | 3,310                                 |
| 資本金            | 532  | 532                                   |
| 資本剰余金          | 843  | 843                                   |
| 利益剰余金          | 1,872                                      | 1,936                                 |
| 自己株式           | △9   | △0                                    |
| その他の包括利益累計額    | △768                                       | △618                                  |
| 少数株主持分         | 14   | 15                                    |
| <b>純資産合計</b>   | <b>2,484</b>                               | <b>2,708</b>                          |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>7,499</b>                               | <b>7,982</b>                          |

(注) 1. 金額については、記載単位未満を切り捨てています。  
2. △はマイナスを示しています。

### 四半期連結損益計算書の要旨

(単位: 億円)

|   | 2012年3月期<br>第2四半期連結累計期間<br>(2011年4月1日から<br>2011年9月30日まで) | 2011年3月期<br>第2四半期連結累計期間<br>(2010年4月1日から<br>2010年9月30日まで) |
|---|--|--|
| <b>売上高</b>                                | <b>4,255</b>   | <b>4,792</b>   |
| <b>売上総利益</b>                              | <b>1,137</b>   | <b>1,247</b>   |
| <b>営業利益</b>                               | <b>67</b>  | <b>146</b>   |
| 営業外収益                                     | 36   | 38   |
| 営業外費用                                     | 42   | 36   |
| <b>経常利益</b>                               | <b>61</b>  | <b>148</b>   |
| 特別利益                                      | 10   | 9  |
| 特別損失                                      | 71   | 24   |
| <b>税金等調整前四半期純利益</b>                       | <b>0</b>   | <b>134</b>   |
| 少数株主損益調整前四半期純利益<br>または少数株主損益調整前四半期純損失 (△) | △43  | 75   |
| <b>四半期純利益</b><br>または <b>四半期純損失 (△)</b>    | <b>△43</b>   | <b>74</b>  |

(注) 1. 金額については、記載単位未満を切り捨てています。  
2. △はマイナスを示しています。

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位: 億円)

|                          | 2012年3月期<br>第2四半期連結累計期間<br>(2011年4月1日から<br>2011年9月30日まで) | 2011年3月期<br>第2四半期連結累計期間<br>(2010年4月1日から<br>2010年9月30日まで) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー         | 59   | △53  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー         | △210   | △112   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー         | △54  | △31  |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額         | △62  | △101   |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)      | △267   | △299   |
| 現金及び現金同等物の期首残高           | 2,117  | 2,545  |
| 新規連結に伴う<br>現金及び現金同等物の増加額 | —  | 1  |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高         | 1,849  | 2,247  |

(注) 1. 金額については、記載単位未満を切り捨てています。  
2. △はマイナスを示しています。

# 会社情報 / 株式情報 (2011年9月30日現在)

**本社** 〒392-8502  
長野県諏訪市大和三丁目3番5号  
TEL: 0266-52-3131(代表)

**本店** 〒163-0811  
東京都新宿区西新宿二丁目4番1号新宿NSビル  
TEL: 03-3348-8531(代表)

**資本金** 532億4百万円

**創立** 1942年5月18日

**従業員数** 連結: 78,901人 単体: 13,418人

**グループ会社** 99社(当社を含む)

## 国内関係会社

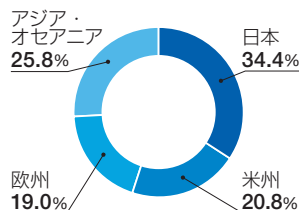
エプソン販売株式会社 東北エプソン株式会社  
エプソンドイレクト株式会社 秋田エプソン株式会社  
エプソントヨコム株式会社  
他 18社

## 海外関係会社

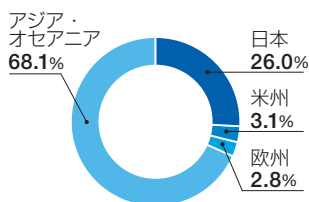
U.S.Epson, Inc. (地域統括)  
Epson Europe B.V. (地域統括)  
Epson (China) Co., Ltd. (地域統括)  
Epson Singapore Pte. Ltd. (地域販売統括)  
Epson America, Inc. (販売)  
Epson France S.A. (販売)  
Epson Precision (Hong Kong) Ltd. (製造)  
P.T. Indonesia Epson Industry (製造)  
Singapore Epson Industrial Pte. Ltd. (製造)  
他 66社

## 仕向地域別売上高の割合

(2011年4月~9月)



## 所在地別従業員数の割合



## 役員

| 取締役ならびに監査役        |        | 業務執行役員   |           |
|-------------------|--------|----------|-----------|
| 取締役会長             | 花岡 清二  | 業務執行役員常務 | 小松 宏      |
| 取締役副会長            | 服部 靖夫  |          | John Lang |
|                   |        |          | 上柳 雅誉     |
| 取締役社長<br>(代表取締役)  | 碓井 稔   | 業務執行役員   | 酒井 明彦     |
|                   |        |          | 森 昭雄      |
| 取締役副社長<br>(代表取締役) | 両角 正幸  |          | 小池 清文     |
|                   |        |          | 宮川 隆平     |
| 専務取締役<br>(代表取締役)  | 久保田 健二 |          | 遠藤 鋼一     |
|                   |        |          | 田場 博己     |
| 常務取締役             | 矢島 虎雄  |          | 久保田 孝一    |
|                   | 平野 精一  |          | 奥村 資紀     |
|                   | 羽片 忠明  |          | 小口 貴      |
|                   |        |          | 井上 茂樹     |
| 取締役               | 濱 典幸   |          |           |
|                   | 福島 米春  |          |           |
| 常勤監査役             | 内田 健治  |          |           |
|                   | 小口 徹   |          |           |
| 監査役               | 山本 恵朗  |          |           |
|                   | 石川 達紘  |          |           |
|                   | 宮原 賢次  |          |           |

## 株式の状況

|          |               |
|----------|---------------|
| 発行可能株式総数 | 607,458,368 株 |
| 発行済株式総数  | 199,817,389 株 |
| 株主の総数    | 37,982 人      |

## 大株主の状況

| 株主名                       | 所有株式数(千株) | 所有比率(%) |
|---------------------------|-----------|---------|
| 青山企業株式会社                  | 20,718    | 10.36   |
| 三光起業株式会社                  | 14,288    | 7.15    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)   | 10,463    | 5.23    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 9,120     | 4.56    |
| セイコーホールディングス株式会社          | 7,948     | 3.97    |
| 服部 靖夫                     | 7,161     | 3.58    |
| セイコーエプソン従業員持株会            | 6,121     | 3.06    |

(注) 1. 所有株式数は、千株未満を切り捨てています。  
2. 所有比率は、小数点以下第3位を切り捨てています。